

TANTETSUKOU

炭鉄港

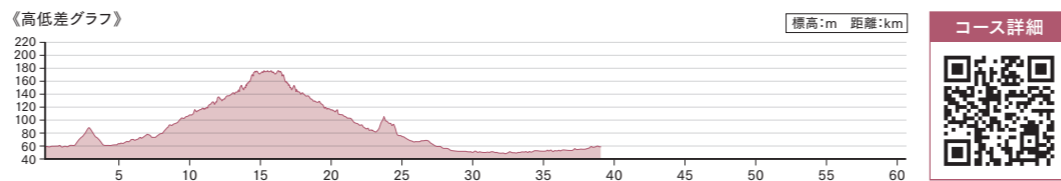
メモリーライド サイクリング マップ



炭鉄港推進協議会

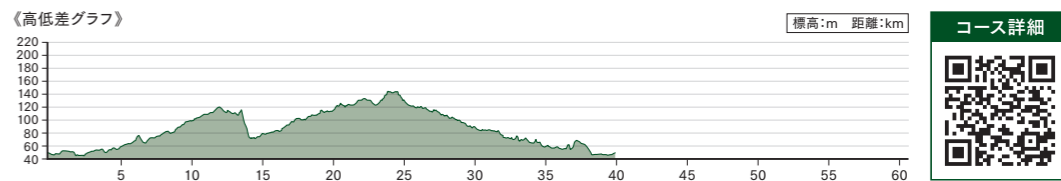
A 美唄コース

◆走行距離/38.9km ◆獲得標高/342m ◆時間の目安/2時間5分



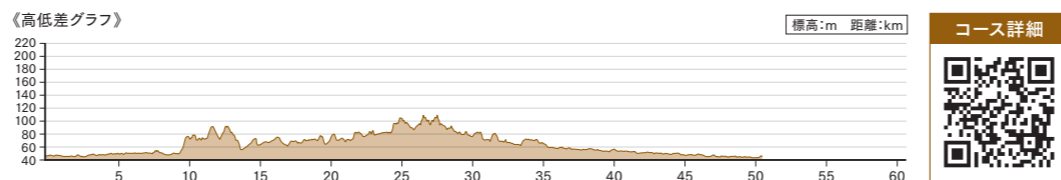
B 上砂川~歌志内コース

◆走行距離/39.8km ◆獲得標高/347m ◆時間の目安/2時間13分



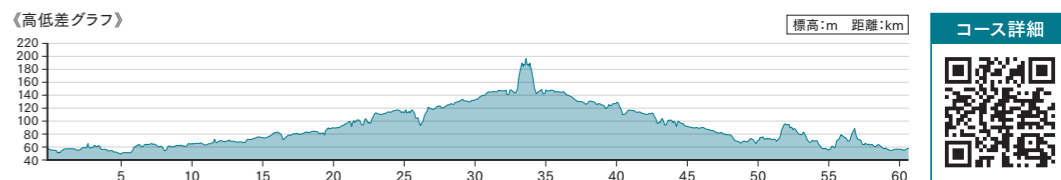
C 岩見沢~三笠コース

◆走行距離/49.7km ◆獲得標高/459m ◆時間の目安/2時間39分



D 赤平~芦別コース

◆走行距離/60.5km ◆獲得標高/502m ◆時間の目安/3時間13分



走行マナー

- 走行時は車や歩行者に十分注意しましょう。
- 歩道を通行する場合は歩行者優先、必ず徐行しましょう。
- ヘッドホン、携帯電話、傘は走行中使用禁止です。
- 車道の右側走行や飲酒運転は禁止です。
- 暗い場所での走行時は必ず前後のライトを点灯しましょう。
- グループで走る場合は1列で走行しましょう。
- 信号の遵守と一時停止・安全確認をしましょう。

交通ルールを守り、安全運転を心がけましょう。

事故などの緊急時には
119(救急車・消防)・110(警察)に必ずご連絡ください。

持ち物リスト

- | | |
|----------------------------------|--|
| <input type="checkbox"/> ヘルメット | <input type="checkbox"/> 雨具(ウインドブレーカーなど) |
| <input type="checkbox"/> サングラス | <input type="checkbox"/> 携帯電話 |
| <input type="checkbox"/> シューズ | <input type="checkbox"/> ライト類(リフレクター含む) |
| <input type="checkbox"/> ボトル | <input type="checkbox"/> ベル |
| <input type="checkbox"/> 補給食 | <input type="checkbox"/> パンク修理パッチ |
| <input type="checkbox"/> 携行工具一式 | <input type="checkbox"/> 保険証 |
| <input type="checkbox"/> スペアチューブ | <input type="checkbox"/> 救急用具(絆創膏・消毒液など) |

凡例 トイレ 休憩スポット

各コースの二次元コードは「Ride with GPS」にリンクしています

歴史をめぐるサイクリングの旅

炭鉄港スポット情報

その他スポット
情報は
こちら

炭鉄港ポータルサイト

<https://3city.net/>



炭鉄港めし
情報は
こちら

炭鉄港めし特設サイト

<https://3city.net/tantetsukou-meshi/>



●掲載している内容は2025年2月現在のものです。季節による変動や臨時休業などで利用できない場合があります。ご利用の際には、改めて事前にご確認ください。

A 美唄

1 旧栄小学校(安田侃彫刻美術館アルテピアッツァ美唄)



1950年に開校した小学校で、校区は炭鉱住宅街であったことから1959年には30学級・1250名となりピークを迎えたが、1981年に閉校。残された木造2階建校舎と体育館は、彫刻家安田侃氏の美術館として活用されている。

住所 美唄市落合町栄町
営業時間 9:00～17:00
定休日 火曜日、祝日の翌日(日曜は除く)

2 三菱美唄炭鉱竪坑櫓



1923年に建設された道内で2番目に古い竪坑。排気・入気の竪坑が2本並び、1972年の閉山まで使われた。閉閉所や原炭ポケットが隣接し、いずれも1925年に建設。現在は炭鉱メモリアル森林公園として公開している。

住所 美唄市東美唄町一ノ沢

3 美唄鉄道東明駅舎・4110形式十輪連結タンク機関車2号



1948年に開業した美唄鉄道の駅舎で木造平屋建。機関車は1919年に三菱造船で製造され、1972年の美唄鉄道廃止まで使用された。現在も駅内には当時の広告や時刻表など石炭で栄えた町の記憶が残っている。

住所 美唄市東明5条2丁目

B 上砂川～歌志内

4 kami すすながわ 炭鉱館



1964年に三井砂川鉱で導入された水力採炭技術は国内でも珍しく、館内で水力採炭の展示を見ることができる。その他にも立坑櫓、炭住八軒長屋の再現など、かつての上砂川の生活を偲ばせるものを多数展示している。

住所 上砂川町本町1丁目1-3
営業時間 10:00～16:00
定休日 5月～10月までの土・日・祝・お盆以外

5 郷土館ゆめつむぎ



明治時代から炭都として栄えた歌志内の歴史や文化を映像や豊富な資料で紹介する郷土資料館。炭鉱長屋のくらしを再現する炭鉱シアターやなるほど坑内まわら体験室、炭鉱で実際に使われた機械など多様な資料が展示されている。

住所 歌志内市字本町1027-1
営業時間 10:00～17:00
定休日 月曜日(祝日の場合は翌日以降の祝日と重ならない日)

6 悲別ロマン座



旧住友上歌志内砒の職員厚生施設(映画館兼集会場)として1953年に開館。炭砒閉山後、「昨日、悲別で(脚本:倉本聰)」のテレビドラマロケ舞台となり、現在も年に数回、各種イベントが開催されている。

住所 歌志内市上歌1-5
営業時間 遠望のみ

C 岩見沢～三笠

7 炭鉱の記憶マネジメントセンター石蔵



空知に残る多くの「炭鉱の記憶」を、地域再生に役立てたいと活動する炭鉱の記憶推進事業団が2009年に開設したビジターセンター。1927年建設の石造り建物や1909年建設の石蔵では、多様な催しが開催されている。

住所 岩見沢市1条西4丁目3
営業時間 10:30～17:30
定休日 月・火曜日(祝日の場合は翌日休館)

8 旧奔別炭鉱立坑櫓



ドイツの技術を導入し1960年に建設されたが、わずか12年で閉山。一つの立坑シャフト中に、原炭輸送スキップと、人員炭車用ケージが一つずつ入る特異な形式。捲上深度650m、掘削深度735m、立坑櫓高さ51m。

住所 三笠市奔別261-4
営業時間 遠望のみ

9 唐松駅舎



1929年に住友唐松炭鉱の石炭搬出物駅として開駅。ギャングル屋根(2面切妻の2段勾配屋根)で待合室部分と駅事務室部分の2棟が直交し組み合わせられた独特な形態が特徴的。

住所 三笠市唐松町1丁目
営業時間 5月上旬～11月上旬 9:00～17:00頃
定休日 不定休

D 赤平～芦別

10 住友赤平炭鉱立坑櫓・周辺施設



1963年に深部開発のため総費用約20億円をかけて建設され、1994年の閉山後も地域のランドマークとなっている。赤平市炭鉱遺産ガイダンス施設では、ガイドの解説を聞きながら立坑櫓建屋内部の見学ができる。

住所 赤平市字赤平
営業時間 9:30～17:00 外観:常時公開 内部:毎週水曜日～日曜日公開(立坑ヤード内部は有料ガイドの際に見学可能)
定休日 月・火曜日(祝日の場合は直後の平日が休館)

11 旧三井芦別鉄道炭山川橋梁



1944年に石炭増産の要請を受けて建設された芦別川支流の炭山川上に架かる三井鉱山専用鉄道の橋梁。1945年12月竣工。橋長94m、高さ30m。鉄橋上にはディーゼル機関車と石炭専用貨車が展示されている。国登録有形文化財。

住所 芦別市西芦別町～中の丘町
営業時間 望遠のみ※夏期(5～10月)は展望広場から間近で見学可

12 北炭赤間炭鉱選炭工場跡(ARスポット)



1938年に開鉱、1965年に空知炭砒(歌志内)と合併し、最盛期には約53トンを出炭するも、1973年に閉山。現存する原炭ポケットと、ARで復元した選炭工場を並べ見ることで当時の運炭の様子が体験できる。

住所 赤平市美園町1丁目

長距離にチャレンジ!
ロングライドコース

E 室蘭コース

勾配が多めの中級者向けコース。絵柄半島をぐるっと回るコース中に「鉄道・鉄鋼・港」に関する建物・施設が点在します。

◆走行距離/27.5km ◆獲得標高/567m
◆時間の目安/1時間40分



F 栗山～追分コース

半日のロングライドコース。SL展示施設や炭鉄港めしを味わえる店舗・施設が点在します。

◆走行距離/83.2km ◆獲得標高/584m
◆時間の目安/4時間29分



G 岩見沢～夕張コース

一日のロングライドコース。鉄道と炭鉱で栄えた街を一日かけて巡り、まちの発展と衰退を体感できる建物・施設が点在します。

◆走行距離/124.8km ◆獲得標高/1,633m
◆時間の目安/7時間3分



H 月形～沼田コース

一日以上の超ロングライドコース。樺戸集治監や炭鉱が北海道の発展にどう影響したのかを体感できる建物・施設が点在します。

◆走行距離/186.3km ◆獲得標高/1,022m
◆時間の目安/9時間56分

